

鳴子温泉地域学校統合に関する説明会【鬼首小PTA】 報告書

開催月日	令和 4 年 4 月 22 日(金) 午後 4 時～午後5時
開催場所	鬼首小学校音楽室
出席者	●鬼首小学校PTA 8 名 ●鬼首小学校 榊原校長, 佐藤教頭 ●教育総務課学校教育環境整備推進室 3 名 ⇒課長補佐:久本裕 係長:鈴木健 主査:佐藤章
概 要	【経緯】 ・令和 3 年度に開催した「鳴子温泉地域学校統合に関する合同検討委員会において, 4 回の会議を通し, 鳴子中学校を活用した小中一貫の義務教育学校として統合するという方向性が示されたことを受け, 次の段階として令和 4 年度から各PTA及び地域に対し説明会を実施する運びとなった。 【主な説明内容】 ・別紙資料を基に, 合意形成までの流れ, 児童生徒数の推移, 義務教育学校の概要等について説明。 【主な意見】 ○保護者 ⇒教育総務課学校教育環境整備推進室 ○子どもたちにとっては人数が多いと刺激になって良いと思う。統合するとバス通学になると思うが, その部分が心配。 ○人数が多くなることは良いことだと思う反面, 急に大人数になることへの心配もある。 ○統合に関してはしょうがないと思う。今はどうしても競争心がないので, 競争心を高めるには統合は良いことだと思う。 ○合同検討委員会の報告書等見させていただきながら, 自分でも理解を深めていきたい。 ○人数が少ないので中学校に上がった時に, 輪に入れるか心配していたので, 統合になればいいと思っていた。ただ, うまく馴染めるかは心配。 ⇒統合に限らず, 中学生になると環境が大きく変わるので心配だと思う。統合に関しては, 各校の先生が何人かは統合校へ行くことになると思うので, 幾分かのフォローはできると思う。 ○下の子が 1 年生になる頃に統合になる予定のようだが, バスに乗っていいのか不安。 ⇒スクールバスにはこの地域の子どもたちが乗るので, 上の学年の子が下の学年の子のお世話してくれるようになればと思っているが, 今後, 準備委員会等で検討できればと考えている。 ○今年度から複式を解消するための取り組みを行っていると思うが, 先生の数足りないのではないか。統合を進めているのに, 教育委員会で先生を

あてがわないのかが疑問。きちんと先生を配置し、学年ごとに授業をすべき。

⇒現時点では統合は決まっていない。その判断をするため今回の説明会を行っており、順次各地域で行っていく。この段階では、人事的な要望はできない。統合することが決まり統合準備委員会が立ち上がれば、学校教育課を通じ、県教委に強く要望していく。だが、教員が不足している状況のため、確実に要望が通るとはお約束できない。

○統合を控えている中で、8人中5人の先生が異動というのはいかがなものか。子どもたちが辛いと思う。そのあたりを来年以降、配慮いただきたい。

⇒ご要望として承る。

○令和7年統合予定とのことだが、これが前倒しになる可能性はあるのか。

⇒令和7年というのは複式学級を解消するために必要な期間を踏まえての時期になる。各地域で説明会を行う中で、統合に対する反対意見が多くあれば後ろにずれ込む可能性はある。

○以前、市教委が説明に来たときは、統合時期はもっと前だった。それが令和6年になり、7年になり明確な目標がない状況。そのような状況では親も不安だと思う。もっと明確なものがあれば、親もいろいろ考え準備ができと思う。鬼首は地域性が強い。そのため過去には反対意見等あったと思うが、鬼首は説明が少ない気がする。他校の保護者から統合に関する話を聞くことが多い。どうしても後回しにされているように思ってしまう。どの親も子どもの人数が減り、統合は仕方がないと思っていると思うが、同じ時期に同じような説明をして、どの地域の保護者にも統合の情報が共有されている方が良いと思う。時差のない説明をお願いしたい。今回の説明会も学校からメールで連絡をもらっているが、もっと早い時期に連絡が欲しかった。学習参観の後に仕事にいく親もいる。どちらかと言えば低学年の保護者のほうが関りが強いので、こういった説明会に参加できた方が良いと思う。その方が市教委にとっても意義があると思う。

⇒連絡が遅くなったことは申し訳なく思う。合同検討委員会の方向性が出たのが3月。まずはPTAの皆様への説明が必要という思いから、4月頭に各校へ日程調整の連絡をさせていただき、初回の説明会として鬼首小学校を選ばせていただいた。急遽のお願いとなったことにお詫び申し上げます。

説明の度に内容が変わるという点については、平成26年から意見交換が始まり、時間経過の中で制度も変わり、当初小学校のみの統合だったものが小中一貫での統合がより鳴子温泉地域にふさわしいとなった。合同検討委員会でも小中一貫の話は聞いていないという方もいて、鳴子中学校を活用した小中一貫の義務教育学校とする統合、川渡小学校を活用した小学校のみの統合、鳴子小学校を活用した小学校のみでの統合という3つのケースについて検討を行い、最終的に小中一貫の義務教育学校として統合する方向性にまとまった。

令和7年の統合目標については、今年度の説明会で統合についての合意が得られたと判断できた際には、保護者の皆様の心の準備等もあると思うので、できるだけ動くことの無いように進めていきたいと思う。